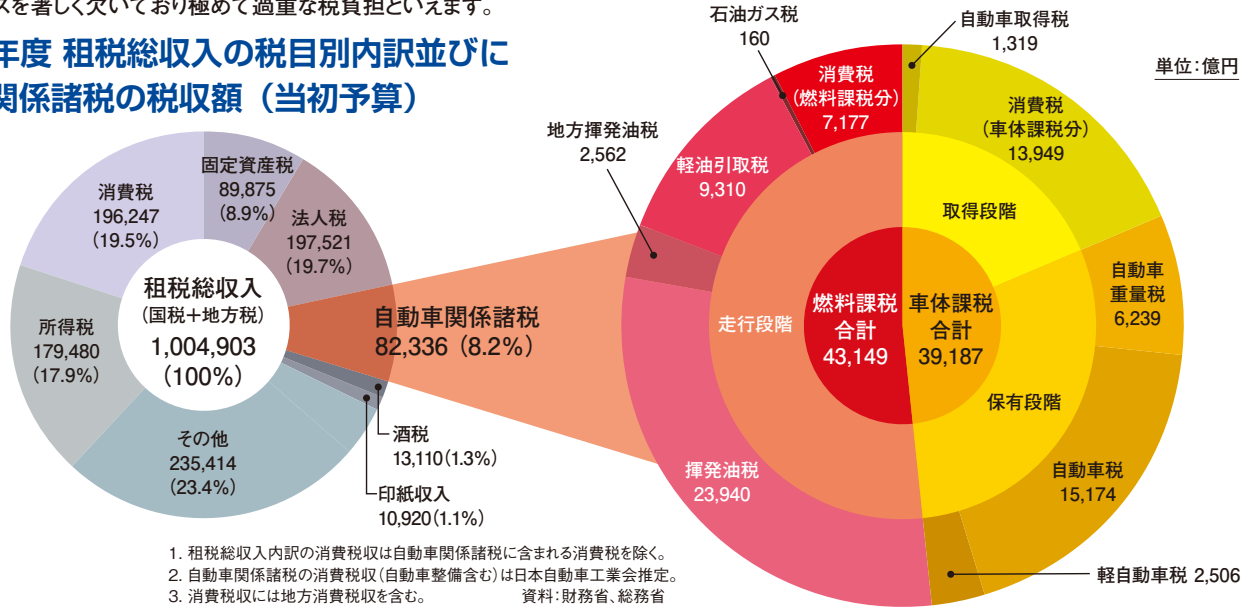


1 9種類・8兆円もの税金が課せられています。

クルマの関係諸税は、9税目にも及び、自動車ユーザーの税負担の総額は8兆円にのぼり、その総額は国、地方を含めた租税総収入の約1割にあたります。課税バランスを著しく欠いており極めて過重な税負担といえます。

2017年度 租税総収入の税目別内訳並びに自動車関係諸税の税収額（当初予算）

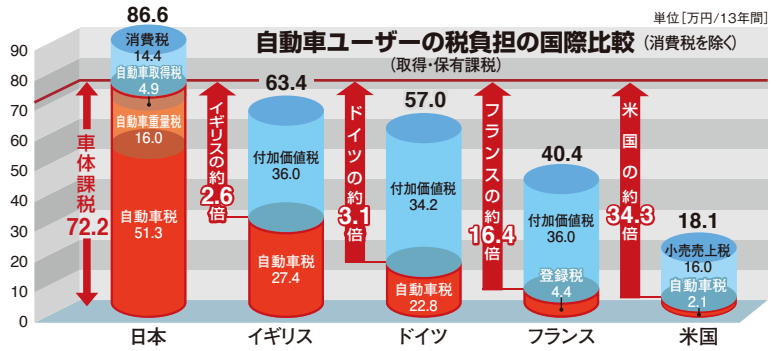


1. 租税総収入内訳の消費税収は自動車関係諸税に含まれる消費税を除く。
 2. 自動車関係諸税の消費税収(自動車整備含む)は日本自動車工業会推定。
 3. 消費税収には地方消費税収を含む。
 資料:財務省、総務省

2 国際的に見ても極めて重い負担になっています。(自動車取得税、自動車重量税、自動車税)

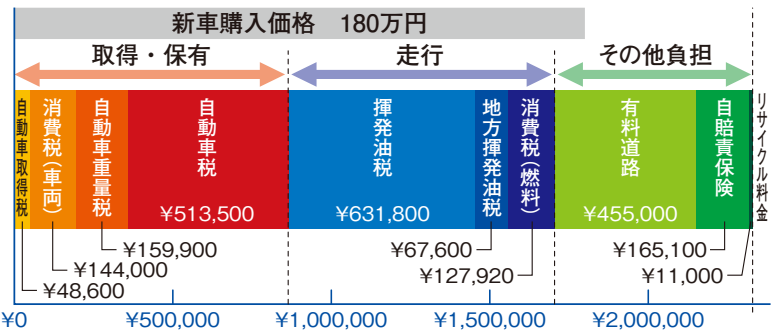
欧米諸国と比べて極めて重い自動車固有の税負担。その額、最大34倍!

【前提条件】
 ①排気量1800cc ②車両重量1.5t以下 ③車体価格180万円 ④JC08モード燃費値15.5km/ℓ (CO₂排出量 150g/km) ⑤フランスはパリ市、米国はニューヨーク市 ⑥フランスは課税馬力8 ⑦13年間使用(平均使用年数:自動車検査登録情報協会データより) ⑧為替レートは1€=¥120、1£=¥146、1\$=¥109 (2016/4~2017/3の平均) ※2017年4月時点の税体系に基づく試算。
 ※日本のエコカー減税等の特別措置は考慮せず。(自動車税制改革フォーラム調)



180万円の新車を購入すると、13年間使用^(※)で、購入価格を上回る232万円もの税金等の負担

【前提条件】
 ①1800ccで車体価格180万円(税抜き小売価格)の乗用車 ②車両重量1.5t以下 ③年間燃料消費量1,000ℓ ④重量税は車検証交付時又は届出時に課税(第1年目は新車に限り購入時に3年分徴収) ⑤税率は2017年4月1日現在 ⑥消費税は8%で計算 ⑦リサイクル料金は1800ccクラスの平均的な額 ⑧13年間使用(平均使用年数:自動車検査登録情報協会データより)
 注:1.有料道路料金、自賠責及びリサイクル料金は自動車諸税に準ずる性格を有するため計算上加味した(自賠責保険は2017年4月1日現在の保険額)
 2.有料道路料金は2015年度料金収入より自動車税制改革フォーラム試算 (自動車税制改革フォーラム調)



3 不合理な「当分の間税率」や「Tax on Tax」といった仕組みが続いています。

自動車重量税等の「当分の間税率」は廃止すべきです!

「当分の間税率」は、もともと道路整備を目的とした道路特定財源としての自動車重量税等(自動車取得税・揮発油税・地方揮発油税・軽油引取税)に上乗せされた「旧暫定税率」が、平成21年度に一般財源化されて名前を変えたものです。道路特定財源制度が廃止され一般財源化されたことにより自動車重量税等は課税根拠を失っています。少なくとも本則税率に上乗せされた「当分の間税率(旧暫定税率)」は廃止すべきです。

二重課税などの不合理な税体系は是正すべきです!

自動車の購入と保有について、似かよった税が二重に課税される制度となっています(購入時には自動車取得税と消費税、保有時には自動車重量税と自動車税・軽自動車税を二重に課税)。また、ガソリン税・石油ガス税等には消費税がかけられています(税に税がかけられる:タックス・オン・タックス)。

自動車ユーザーの98%が自動車にかかる税金に負担を感じています。[JAF(自動車税制に関するアンケート調査)結果より]

Q 自家用乗用車には毎年、概ね11.52万円の税金(保有段階:自動車税、自動車重量税、走行段階:ガソリン税(揮発油税+地方揮発油税)、消費税)が課せられています。あなたはこれら自動車にかかる税金を負担に感じますか?

【調査対象】全国の18歳以上の自家用乗用車保有者 【調査方法】インターネット調査(JAFホームページにて実施)
 【調査期間】平成29年 7月14日(金)~8月20日(日) 【有効回答者数】88,983人
 ※1800ccで車両重量1.5t以下、年間ガソリン使用量1,000ℓの場合。(ガソリン小売価格は消費税込み130円/ℓで換算。エコカー減税等の適用外車両。)

